



MISSION

国民の暮らしを豊かにし、
未来を照らすHEROを目指す



国家公務員試験ガイド

2025
一般職



MISSION

国民の暮らしを豊かにし、 未来を照らすHEROを目指す。

国家公務員の仕事ってなんだろう？

このパンフレットを手を取ったみなさんはそう思っているかもしれません。

私たちの仕事は国全体に関わる業務を行うこと。

人々の暮らしをより豊かにする政策の企画・立案。

必要な政策実現のための調整、政策の実行・フォローアップ。

すなわち、この国に存在するすべての人のための仕事です。

時には、国内にとどまらず国際社会の中で、世界規模の課題に取り組むことも。

担当するミッションはそれぞれの府省で違って、

共通するのはこの国の人々を想い、考え、実行すること。

そこには、国家公務員でしか経験できない社会貢献があります。

あなたの考える豊かな暮らしとは？

あなたの考えるこの国に足りないものは？

人の力は国の力。

一人ひとりの挑戦が国づくりのための鍵となります。

目次

- 03 目次
- 04 国家公務員の MISSION
- 05 各府省の MISSION
- 10 若手国家公務員に聞いてみた!
- 11 採用担当者に聞いてみた!
- 12 職員紹介 私はここで何をするか?
- 12 ●行政(本府省)
- 15 ●行政(地方機関)
- 17 ●行政(地方機関)、デジタル・電気・電子
- 18 ●機械、土木
- 19 ●建築、物理
- 20 ●化学、農学
- 21 ●農業農村工学、林学
- 22 ワークライフバランス
- 24 一般職試験(大卒程度試験)の概要
- 25 試験から採用までの流れ、官庁訪問
- 26 給与・勤務時間など、人材育成
- 27 一般職試験(大卒程度試験)府省等別・試験の
区分別採用状況

職員の所属(役職)は、原稿執筆時のものを記載しています。

国家公務員のMISSION

憲法により「全体の奉仕者」とされ、公のための仕事に携わる公務員は大きく国家公務員と地方公務員に分けることができます。

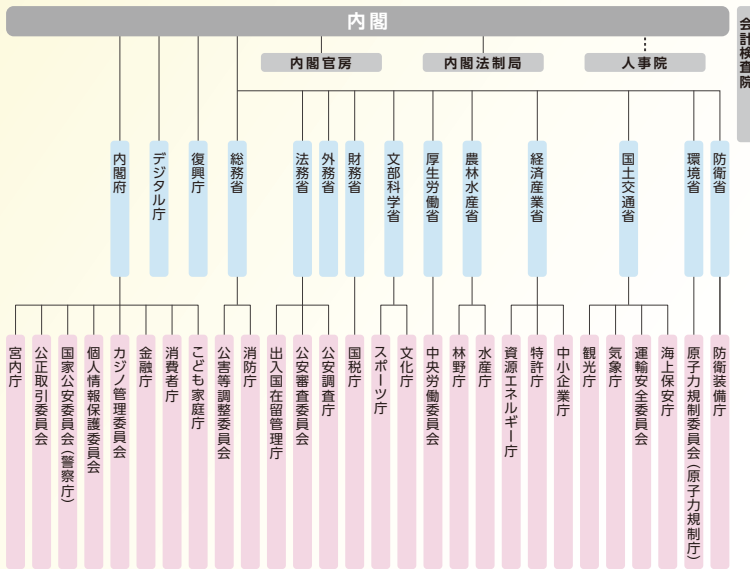
国の業務に従事する国家公務員は、特別職と一般職があります。

みなさんが頭に思い浮かべる国家公務員とは、各府省で働く一般の行政官や、外交官、税務職員などではないでしょうか。

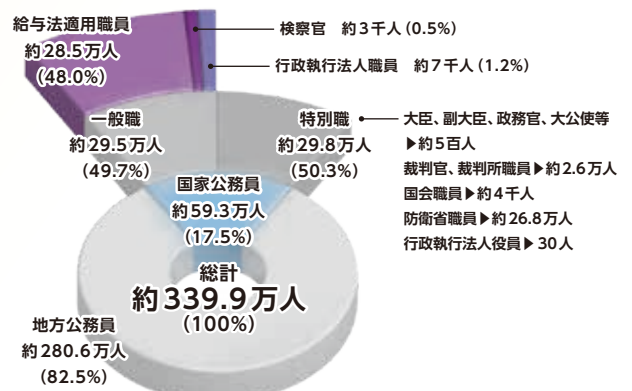
これらのほとんどは一般職の国家公務員に分類されます。

国家公務員とは？

国の行政組織



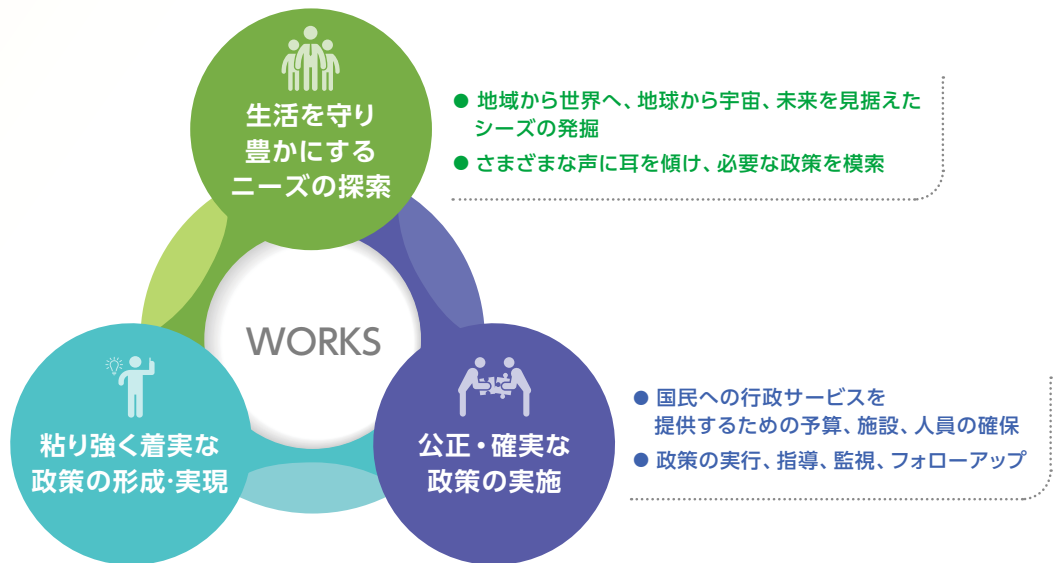
公務員の種類と数



- 1 国家公務員の数は、2を除き、令和6年度末予定員である。
- 2 行政執行法人の役員数は、「令和5年度独立行政法人等の役員に就いている退職公務員等の状況の公表」における令和5年10月1日現在の常勤役員数であり（内閣官房内閣人事局資料）、行政執行法人の職員数は、「令和6年行政執行法人の常勤職員数に関する報告」における令和6年1月1日現在の常勤職員数である（総務省資料）。
- 3 地方公務員の数は、「令和4年4月1日地方公務員給与実態調査結果」における一般職に属する地方公務員数である（総務省資料）。
- 4 数値は端数処理の関係で合致しない場合がある。
- 5 このほかに、一般職国家公務員の非常勤職員（行政執行法人の職員等を除く）の数は、「一般職国家公務員在職状況統計表（令和5年7月1日現在）」により約15.7万人である（内閣官房内閣人事局資料）。
- 6 国家公務員の内訳の構成比（ ）は、国家公務員約59.3万人を100としたものである。

国家公務員の仕事とは？

- 政策・法令の立案、政策実現のための調整
- 国内にとどまらない世界規模の課題への挑戦



細かい業務や内容は各府省や担当するプロジェクトによってさまざまですが、全体の奉仕者として連携しながら、政策を実際に前に進めていく。それが国家公務員の仕事です。



会計検査院

財政執行の監視人

内閣から独立した憲法上の機関として、国や法律で定められた機関の会計を検査し、会計経理が正しく行われるように監督する職責を担う。



人事院

公務員を元気に 国民を幸せに

中立・第三者機関として、人事行政に関する公正の確保及び国家公務員の利益の保護等に関する事務を行う。



内閣官房内閣情報調査室

内閣の情報アドバイザー

官邸直属の情報機関として「内閣の重要政策に関する情報」の収集、分析、報告を行い、官邸の政策決定、遂行を支援する。



内閣法制局

法令・条約の審査役

法制的な面から内閣を直接補佐する機関として置かれており、閣議に付される法律案、政令案及び条約案の審査や法令の解釈などの任務を担う。



内閣府

日本の未来を切り拓くデザイナー

経済財政政策、男女共同参画、防災、沖縄政策等の国の重要政策に関する企画立案・総合調整や、栄典、政府広報等の国家基盤となる業務を担う。



宮内庁

皇室のサポート役

皇室関係の国家事務を担い、国民と皇室の橋渡しを行う。



公正取引委員会

市場の番人

独占禁止法に基づく取締りや競争環境の整備を通じて、市場の公正かつ自由な競争を維持・促進し、創意あふれる事業者が前進できる社会を実現する。



警察庁

市民の安全を守るリーダー

警察に関する制度の企画・立案、都道府県警察の指揮監督を行い、公共の安全と秩序を維持する。





個人情報保護委員会

個人情報の見張り番

個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を保護するため、個人情報の適正な取扱いの確保を図る。



カジノ管理委員会

クリーンなカジノの守り人

IRを支えるカジノの厳格な規制によりその健全な運営の確保を担う。



金融庁

金融で未来をデザインする

金融制度の企画立案・金融事業者のモニタリング・金融外交等を通じ、金融の力を活用して社会・経済の諸課題の解決に取り組む。



消費者庁

消費者行政の舵取り役

消費者の利益の擁護及び増進に関する基本的な政策の企画・立案等を担う。



こども家庭庁

こども・子育て政策の司令塔

こども・若者や、こどもたちを育て、支えているみなさんの声をまんなかに捉えた政策を推進し、全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる「こどもまんなか」社会を実現する。



デジタル庁

デジタル社会形成の司令塔

未来志向のDX(デジタル・トランスフォーメーション)を大胆に推進し、デジタル時代の官民のインフラを一気呵成に作り上げることを目指す。



総務省

行政全体のマネージャー

国の行政制度、地方行財政、情報通信等、国家の基本的仕組みに関わる諸制度を担い、新時代の日本を創成する。





消防庁
災害対策の司令塔

平時は消防に関する制度の企画・立案を行い、大規模災害時は緊急消防援助隊の派遣等のオペレーション業務等を行い、国民の安心・安全を担う。



法務省
公平・公正な社会の実現

法秩序の維持、国民の権利擁護を実現するため、基本法制の立案、再犯防止、出入国管理、登記制度等を担う。



出入国在留管理庁
外国人共生の
未来を拓く挑戦者

「世界をつなぐ、未来をつくる」を合言葉に、日本人と外国人による共生社会の実現を担う司令塔として、出入国の管理、在留の管理、受入環境整備、退去強制、難民等の認定の5つの分野で日本社会を支える。



公安調査庁
情報のプロフェッショナル

暴力主義的破壊活動を行う危険性のある団体を調査し、得られた情報を団体の規制に活用するほか関係機関に提供することで、日本の安全に貢献する。



外務省
国際社会における日本の体現者

国際社会が時代を画する変化に直面する中、日本の安全と繁栄を確保すべく、安全保障、経済、国際協力、国際法、広報文化等の幅広い分野を通じて対外関係を維持・発展させること。



財務省本省
ファイナンスによる社会の設計役

国の予算・税制等の財政政策、為替・金融市場等に対するマーケット関連政策、経済外交・関税交渉等の国際関連政策に関する企画・立案を担う。



財務省財務局
国と地域をつなぐ

財務省の総合出先機関として、また、金融庁からの事務委任を受け、財政・国有財産や金融等に関する施策を実施し、国・地域社会の両方に貢献。



財務省税関
国のゲートキーパー

水際における密輸取締、適正かつ公平な関税等の賦課徴収、貿易円滑化の推進等を目的に貿易秩序と国民の安心・安全を守る業務を担う。





国税庁

日本を根底から支える

約5万6千人の職員が一丸となり、「適正・公平な課税及び徴収の実現」という揺ぎ無い正義感を持ち、この国の原動力として日本を支える。



文部科学省

未来づくりの
プロフェッショナル

教育、科学技術・学術、スポーツ、文化の振興等を通じ、人を育て、知恵を生み出し、未来を創る重要な使命を担う。



厚生労働省

かけがえない生活の「要」

国民生活の保障・向上、経済発展に寄与するため、社会福祉、社会保障、公衆衛生の向上・増進、労働条件や労働環境の整備、職業の確保等を担う。



農林水産省

農林水産省

食と生命の守護神

生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来の子どもたちに継承していくため、食料の安定供給の確保、農林水産業・農山漁村の振興、森林の整備・保全、水産資源の保存・管理等を担う。



経済産業省

日本経済の牽引役

「未来に誇れる日本をつくる。」をミッションに、経済活力の向上を図る産業・イノベーション政策、対外経済関係の発展に向けた通商・貿易政策、経済社会活動の基盤となる資源・エネルギーの安定供給を推し進める。



特許庁

「知的財産」の守り人

特許、実用新案、意匠及び商標に関して、審査及び事務、施策の企画・立案やユーザー支援等を行うことを通じ、産業の発展に寄与する。



国土交通省

豊かな暮らしと経済の実現

多様な「インフラツール」を駆使して国内外の“現場”を動かすことで、豊かな暮らしを支え、経済を活性化させる。





気象庁

科学技術を駆使する
防災の専門官

気象、地震、津波、火山活動等の自然現象を常に監視・予測し、利用目的に応じた適時的確な気象情報を作成・提供を行うことで、自然災害の軽減、国民生活の向上、交通安全の確保、産業の発展などに寄与する。



運輸安全委員会

事故調査で運輸の安全を担う

航空・鉄道・船舶事故の原因及び被害の原因を究明するための調査を行い、原因関係者に勧告を行うこと等により、再発防止・被害の軽減に寄与する。



海上保安庁

日本の海の守護神

海上における治安の確保、領海警備、海難救助、海洋環境の保全、自然災害への対応、海洋調査、船舶交通の安全確保など多種多様な業務を担う。



環境省

地球と人類の未来の守り人

気候変動対策、資源循環促進、生活環境保全、生物多様性保全、東日本大震災からの復興・再生等の施策を通じ、創設以来の使命である「人と環境を守る」取組を追求する。



原子力規制庁

世界最高水準を目指す
確かな規制

「原子力に対する確かな規制を通じて、人と環境を守る」という使命のもと、原子力施設の許認可に係る審査・原子力施設での保安活動・原子力災害対策・放射線規制・広報・国際業務等を行う。



防衛省

平和と独立を守る「最後の砦」

私たちの日常、すなわち社会・経済・文化などは「平和」という土台の上に築かれている。戦後最も厳しく複雑とされる安全保障環境の中、国家の平和と独立を守るため、安全保障政策の企画から実行までを担う。



防衛装備庁

安心と信頼の防衛装備品を

防衛装備品等について、その開発及び生産のための基盤の強化を図りつつ、研究開発、調達、補給及び管理の適正かつ効率的な遂行並びに国際協力の推進を図ることを任務とする。



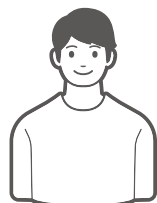
大規模な事業を通して北海道の農業に関わりたいと思ったからです

その規模の大きさに魅力を感じました
実施した事業が全国に行き渡る、

様々な政策に携わり、幅広く社会を支えている財務省の業務に魅力を感じたからです



見慣れた農業だけでなく、日本全国を見て感じて考えてみたかった



官庁訪問等を通じて職場の雰囲気に魅力を感じたこと

唯一無二の社会的インパクトの大きさ!

仕事のスケールの大きさと、東北を愛する気持ち!

行政の立場から、多種多様な業務に携わることができる点が決め手です

国の防災対応の中核を担う機関で社会に大きく貢献できることに魅力を感じました



微力かもしれないが、国の発展に
寄与したいという思い

大学時代の先輩が国家公務員の仕事を
楽しそうに話していたことがきっかけです

国家公務員になろうと思った決め手

若手職員

VO

国の防災対応の中核を担う機関で社会に大きく貢献できることに魅力を感じました

様々な文化、食べ物に出会える多様な勤務先があると知ったこと

官庁合同業務説明会に参加し、業務内容に魅力を感じたため



国家公務員にしかできない業務に魅力を感じました

業務内容が多種多様であり、様々な経験ができそうと思ったからです

学生時代に学んだ知識を活かし
専門性のある仕事がしたい

国家公務員の技術職には、専門性のある職がたくさんあり、魅力的に感じたのが決め手です

特定の分野に偏らない
「広い視野」と
優先順位を的確に判断できる
「バランス感覚」

「誰かの役に立ちたい。」

という強い情熱と

責任感



この国を支え、
この国の未来を創りたい、
という思いをもつことです

チームで働ける「協調性」と 時代の変化に対応できる「柔軟性」

常に国民全体の奉仕者であるという
自覚を持って行動すること

チームワークを大切にし、
様々な環境の変化に適応し
成長すること

相手の立場で物事を考えられる
バランス感覚を持った方を
求めています



幅広い視野を持ちつつ、

新しいことにも積極的に挑戦できる

人材を求めています

明るく前向きに、自分なりの考えを
持ちながらもチームの一員として働くこと!

臨機応変に対応する力、 状況を正しく把握する力

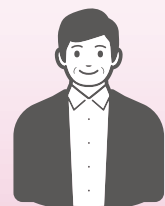
国が直面する
様々な課題に対して、
的確かつ柔軟に対応すること



広い視野を
持って業務に
取り組むこと

よりよい社会の実現のために
働くという視点を持つ

現場の声に耳を傾けつつ、
政策を提案し全力で実行していくこと



くにを支えひとを支える
熱意のある者

ICE

国家公務員に
求められて
いること

採用担当者

行政
(本府省)

内閣府



寺田 朱里

内閣府
消費者委員会事務局

2018年採用



消費者に寄り添った消費者行政を目指し、監視役としての委員会をサポート

●日々の仕事とやり甲斐

現在の仕事は、消費者委員会の運営に伴う事務と、部局内や他省庁との連絡調整が主になります。前者は、資料や対応者の取りまとめをはじめとする事前準備や委員会当日の進行補助など、ロジ面での業務が中心です。より良い消費者行政に資する議論が円滑に行われるよう、事務局一丸となってサポートしています。後者は、部局全体の総括担当として、日々舞い込んでくる様々な依頼について関係各所と連携・調整して対処しています。

●仕事を通じて成長したと感じるエピソード

これまでの業務経験や試行錯誤を経て、対処できる業務や問題の幅が広がったときが、私にとって成長を感じる瞬間になります。経歴上、前部署で培った経験や身に着けた知識が、次の部署で役に立つ場面が往々にしてありました。そうした時に、あの時の努力は無駄ではなかったなど実感するとともに、やりがいにもつながります。自分自身の業務のみならず、周囲にも還元していけるよう、引き続き業務に励んでまいりたいと思います。

もっと
詳しく読む >



行政
(本府省)

公正取引委員会



佐藤 香純

公正取引委員会事務局総局経済取引局
取引部取引企画課フリーランス取引適正化室

2011年採用



既存の枠があるからこそ、 超えるチャンスが沢山ある

●日々の仕事とやり甲斐

今は、令和6年に施行の「フリーランス新法」の広報を担当しています。この法律に期待しているフリーランスの方々や組織内部からも「異次元の/徹底的な広報」を求められており、今までの公正取引委員会にはなかった広報の形を模索・提案し、コンテンツ作成まで行っています。手探りで成果が分かりにくい仕事ですが、提案を通すために戦略を練り、上司にプレゼンする際の緊張は私にとって良い刺激です。コンテンツを公開した安堵感と「良かったよ」の一言は、次も頑張ろうと思わせてくれます。

●仕事を通じて成長したと感じるエピソード

人前で話すことはあまり得意ではなかったのですが、事業者、学生など外部に対して説明する機会に恵まれ、伝わる説明を模索する中で、相手に伝わるように話すために、自身の内容の理解を深くすることはもちろん、話す相手がどんな立場かを踏まえ、単語の選び方、言い回し、文章の組み立て、話すスピードなど意識することを心掛けるようになりました。今ではどんな風に伝えようかと考えるのが楽しいと感じます。

もっと
詳しく読む >



行政
(本府省)

総務省

五味 佑介

総務省情報流通行政局情報流通振興課
企画係長

2012年採用



我が国の社会経済を支える デジタル空間の情報流通の在り方を考える

もっと
詳しく読む



● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

法学部で法律に触れていたのは法律に基づき業務を遂行する上で役に立っています。また、ゼミの先生が放送法にも知見があり、入省後最初の2年間は放送法の改正を担当していたため、その際の業務には役立ちました。

● 仕事を通じて成長したと感じるエピソード

料金サービス課時代に諸外国の携帯電話料金の比較調査を担当していました。当時の政権も携帯電話料金値下げを公約としており、世間的にも注目される中で、調査結果の公表に際しては、省内関係者、官邸、調査対象の通信事業者など、今までに経験していない多くの関係者との調整や大臣の総理への説明資料の作成など様々な業務を経験しました。この大きな案件をやり遂げられたという経験が自信に繋がり、日々の業務を自信を持って遂行出来ていると感じています。

行政
(本府省)

財務省

林 花連

財務省主計局
経済産業第二係

2022年採用



自分の査定する予算が、 国の信用と将来につながっている

もっと
詳しく読む



● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生時代は政治経済学部で経済学を専攻していました。身近な経済活動について授業で学ぶことがあり、例えば、企業の海外展開支援をしている日本貿易振興機構(JETRO)のサービスを通じて、中小企業が初めて海外への輸出を成功させた事例に授業で触れ、中小企業支援について学ぶことができました。現在の業務では、本当に偶然ですが、日本貿易振興機構(JETRO)の予算編成なども担当しております。

大学時代の学びとつながる業務に携われていることに喜びを感じています。

● 仕事を通じて成長したと感じるエピソード

1年目は、最初から上司によく確認しながら業務に取り組んでいましたが、2年目は、自分なりの意見を持って業務に取り組み、その上で上司に確認する姿勢を意識していました。

直近では、係で予算執行調査を行う際に、調査する内容について自分で1から考えた案が採用され、その後の業務も自分中心に仕事を任せていただきました。

主体的に仕事に取り組むことで、自分の力のできる業務の幅が広がり、成長を感じるとともに達成感にもつながります。

行政
(本府省)

文部科学省



上床 梨々霞

文部科学省初等中等教育局
幼児教育課振興係

2021年採用



もっと
詳しく読む



人生の基盤となる幼児教育の 質の向上のために

● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

国際政治学を専攻しました。国際社会で起こった様々な事象の原因を多角的に検討する方法を学び、既存の意見に疑問を持ち問を立てる力をつけたことは、現在の仕事でも、例年通りではなく、どのような方法が最も適切で効果的であるか検討する上で役立っていると感じています。

● 日々の仕事とやり甲斐

幼児教育課では、私立幼稚園が行う施設整備に対する補助金業務を担当しています。子どもの命を守る耐震化対策や、子育て支援の更なる充実を図るための預かり保育などに必要な環境整備を行っています。工事計画書の図面や見積書から事業内容を読み解くことに難しさを感じますが、工事が実施され、補助を行ったことで子どもの命が救われたり、教育環境が改善されたりしていることを考えると、非常にやり甲斐を感じます。

行政
(本府省)

特許庁



那須 マリナ

特許庁総務部秘書課
任用第一係長

2010年採用



もっと
詳しく読む



日本の根幹を支える知的財産権制度に 関わることができる

● 転職について

経済産業局へ転職が決まった時は環境の変化に適應できるかどうか不安もありましたが、周囲の方々からのサポートもあり、想像以上に充実した日々を過ごすことができました。経済産業局での勤務を通じ、デスクワークでのやり取りだけでなく、直接現地を訪問して対話することの重要性を感じました。特許庁へ帰任した後も、経済産業局在任中に得られた知識や人脈を生かし、スムーズに業務を進めることができました。

● 仕事を通じて成長したと感じるエピソード

人事異動を通じて、色々な業務を経験する機会があり、それぞれの部署で新たな知識を得ることができます。過去に得た知識や経験が将来的に別の部署でも活かされたときには自分自身の成長を感じられますし、新しい知識を吸収できたときは知的好奇心をくすぐられます。いずれの部署での経験も無駄になることはないと感じています。

行政
(地方機関)

人事院



重光 秀香

人事院近畿事務局総務課
研修係

2021年採用



より良い行政運営のため、 各組織で活躍する国家公務員を支える

もっと
詳しく読む



● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生時代は環境経済学を専攻し、環境の価値を経済学の観点から分析する研究をしていました。時間をかけて集めたデータを結果的に論文には使用しなかったり、自分の分析を同じゼミの人と共有し意見をもらって改善したりなど、試行錯誤を重ねました。調べたものが全てすぐに役に立つというわけではないのですが、何でもまずは調べて自分なりに考え、周りの職員に共有してさらに考えるというスタイルは今の業務でも生かされていると思います。

● 仕事を通じて成長したと感じるエピソード

学生時代は率先して人前に出ることは少なかったのですが、人事院では説明会や研修など、人前で話す機会が多くあります。最初は非常に緊張していましたが、講義を任された際に、受講生の様子を見ながら時間に余裕を持って終了できた時や、アンケートで伝えたいことが伝わったと実感できた時には成長を感じました。部署が変わると仕事内容はガラリと変わりますが、慣れないことでも準備をしっかりすればできるようになるという自信に繋がりました。

行政
(地方機関)

法務省



春森 大輔

福岡高等検察庁刑事部刑事事務課
刑事係主任

2015年採用



検察庁の捜査・公判活動を支える 正義感あふれる業務

もっと
詳しく読む



● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生時代は、他国籍間の結婚や相続等でトラブルが生じた場合の準拠法を取り扱う国際私法を専攻し、大学3～4年次のゼミでは、ディベートを通じて同期と討論を行っていました。

検察庁の業務と学生時代の専攻は、法分野は異なりますが、学生時代のディベート活動を通して得た、文献資料を精査して結論を出す調査力や筋道立てて説明する思考力は、現在の業務に大きく影響を受けていると感じています。

● 日々の仕事とやり甲斐

地方検察庁から報告される刑事事件に関する文書について、確認・点検作業を行うとともに、事案に応じて、担当検察官に相談等を行う業務を担当しています。地方検察庁からの報告を適正に把握・管理することで、刑事事件の適正な処理に寄与できる点にやりがいを感じています。

また、私は、2歳の子どもがおり、育児に係る休暇を取得する場面もありますが、周囲の手厚いサポートにより、育児に専念することができるため、仕事と育児を両立することができ、日々充実感を感じています。

行政
(地方機関)

出入国在留管理庁



井手上 ゆうき

出入国在留管理庁東京出入国在留管理局
羽田空港支局審査管理部門入国審査官

2019年採用



もっと
詳しく読む



日本の入口で、日本の安全を守る、 重要な仕事

● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

大学では児童福祉を専攻し被虐待児童とその家族や関係者との接し方、背景にある原因とその後の支援の仕方を学びました。現在は、出入国審査業務や審査端末機器の整備、職員向けの研修を担当しており、一見関係がないように思われるかもしれませんが、入国審査官は会話や仕草など些細な手がかりから、目の前の人物を入国させても問題のないかを判断する必要があり、また、研修の講師を務める際には、相手の反応を見ながら理解度をはかり、柔軟に説明することが求められるので、学生時代に身に着けた他者とのコミュニケーション能力は現在も役立っています。

● 仕事を通じて成長したと感じるエピソード

上陸審査では、虚偽の申告や過去の法律違反が原因で入国を拒否することがあります。相手によっては怒りや苛立ちを顕わにしたり、その関係者が何度も電話をかけてきたりと、感情に訴えようとする場合があります。そのような場合であっても、日本の治安維持にとって好ましくない人物など法律の要件を満たさない人物を入国させることはできませんので、感情的にならずに冷静かつ毅然とした対応を取ることができるようになったとき、成長を実感しました。

行政
(地方機関)

厚生労働省



村上 健治郎

厚生労働省兵庫労働局龍野公共職業安定所
職業相談・求人部門職業指導官

2017年採用



もっと
詳しく読む



「働く」という人生の大部分を占めることに 関われる重要な業務です

● 転職について

私は、龍野（現職）のほか、兵庫県内の色々な地域のハローワークで勤務しています。基本的に業務内容は同じですが、地域による産業や習慣の違いを感じるのに苦労しましたが、それぞれの所属の特色や経験を参考にしています。転職と聞くとあまり良いイメージがなかったかもしれませんが、同じ業務といえども地域による違いがあったりして、業務に対する視野・幅が広がりが今後のスキルアップにつながったり、人脈を広げるチャンスと私は思っています。

● 仕事を通じて成長したと感じるエピソード

業務内容は対人業務がほとんどであり、求職者に対する説明会や窓口、電話対応などで問題が生じた際、自分自身で解決できることが上司と相談したうえで慎重に解決すべき案件なのか判断を迫られることが多くあり、イレギュラーなことや物事に対する対応力が身に付いたと感じています。また、異動する都度働く環境、人も変わるため、異なる環境下での業務も対応力が身に付いた要因かなと思っています。

行政
(地方機関)

経済産業省



亀田 大貴

経済産業省東北経済産業局地域経済部
製造産業課情報政策・半導体戦略室

2016年採用



地域の魅力・強みを 最大限に引き出すことができる仕事です

もっと
詳しく読む



●日々の仕事とやり甲斐

現在は、半導体関連産業の担当として、産学官による連携組織を設立し、人材育成やサプライチェーン強靱化に係る取組を進めています。東北地域はグローバルに活躍する半導体関連企業や教育機関が多く立地している、これら産学官の様々なプレイヤーが「東北・日本の半導体関連産業の更なる成長」という同じ方向性を目指し、1チームで仕事をする事ができていて、日々の業務にやりがいを感じています。

●仕事を通じて成長したと感じるエピソード

上司・部下関係なく意見が言い合える風通しの良い職場のため、若手職員の頃から意見を求められる機会が多かったです。そのため、政策の背景や地域の課題などを日頃から意識し、自分の考えを持つように心がけて仕事をしています。また、幅広い分野に深く携わることができ、様々な関係者との意見交換を通じて、当該分野の知見を広げることができていると感じます。

デジタル・電気・電子

防衛省



山口 隆貴

防衛省地方協力局
西日本協力課

2017年採用



日本の防衛に携わることのできる仕事

もっと
詳しく読む



●日々の仕事とやり甲斐

現在は主に予算要求に必要な資料の作成を行っております。予算要求時に説明を求められても対応できるように、聞かれそうな内容を想定し、必要となる情報についてしっかりと聞き取りを実施、説明資料の作成を行います。実際に想定していた質問がされ、すんなりと説明ができた時や、説明が終わり予算が成立した際はとてもうれしいです。国を守るために必要な予算を確保できたことを実感でき、やりがいを感じることができます。

●仕事を通じて成長したと感じるエピソード

自分で考えながら仕事ができるようになったことです。最初は先輩に指示を受けながら資料の作成を行っていましたが、仕事をしていくうちに必要な情報のポイントも理解できるようになり、自分で考えて作成ができるようになりました。まだまだ詰めが甘い部分もありますので、仕事をしていく中で成長していければと思います。

機械 警察庁



小池 伸一

警察庁長官官房技術企画課・
専門職

2007年採用



全国警察を支える技術のスペシャリスト

もっと
詳しく読む



● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

大学の研究室では車両制御システムの設計・実装について学んでいました。同じプログラミングでも、大学で作成したシステム構築と現在の情報システムの構築とは内容が異なりますが、自分で試行錯誤して作り上げたものが実際に使われ、いるいるな人が利用し、業務が回っていくという達成感はどこにも共通していると思います。国家公務員の技術系採用は、公務員でありながら技術的専門性のある仕事ができるやりがいのある職であると感じます。

● 日々の仕事とやり甲斐

警察職員が利用する情報システムの開発・管理を主に担当しています。具体的には、各都道府県警察が犯罪捜査に活用するためのシステムを整備しており、国家公務員という立場でありながら、情報システムの設計、開発、運用までを自らの手で行うことができる職場です。実際に自分が作成したシステムを利用して警察業務が成り立っていることを考えると、とてもやり甲斐があると感じます。

土木 環境省



水野 眞子

環境省地球環境局国際脱炭素移行推進・
環境インフラ担当参事官室

2022年採用



日本の主張をとりまとめ、 世界の環境協力を推進！

もっと
詳しく読む



● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生時代の専攻の知識をそのまま活かす業務ではありませんが、学生時代の研究で培った、問題を臨機応変に解決していく柔軟性、周囲の力も借りながら物事を進めていく協調性を業務でも活かしています。当室は所管業務も多く、窓口案件に対応しているところのような方針で対応すればよいかわからないことがたくさんありますが、自分で抱え込まず周りの人に相談することで、すんなり進むことが多いです。

● 日々の仕事とやり甲斐

室全体の窓口のほか、日本・中国・韓国の環境協力を担当しています。日中韓三カ国環境大臣会合では、三カ国の環境大臣が三カ国間環境協力内容について書かれた共同コミュニケという文書に署名を行います。その作成（「ドラフティング」と言います）を担当しました。環境省内はもちろん中国・韓国の意見をとりまとめ、上司と長い時間をかけて作成したコミュニケに、会合の最後に三大臣が署名した瞬間は、「あれが私が作成した文書なんだ」と、とても感動しました。

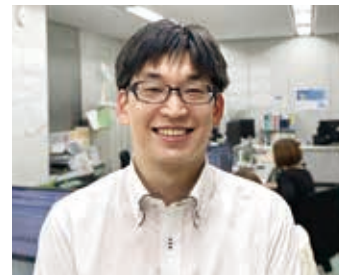
建築 財務省財務局



遠藤 淳也

財務省関東財務局管財第1部第2統括
国有財産管理官統括国有財産管理官付

2020年採用



宿舎が生まれる前から、一生の面倒を見ていく。ずっと建物と共に歩む仕事

●日々の仕事とやり甲斐

現在の課では主に積算を担当しています。国家公務員宿舎改修工事の適正価格を算出する仕事のため、国の予算の運用に深くかかわることになります。そのため、一円の無駄も無いように気を付けて仕事をしています。

設計業者やメーカーとの打ち合わせを重ね、数量や金額を何度も確認し、工事全体の適正価格の算出が完了した時にとてもやり甲斐を感じています。

●仕事を通じて成長したとを感じるエピソード

入局した当初は業者との打合せもただどしく、電話も上手く対応できませんでした。しかし、苦手でも続けていくうちに、次第にこれらに慣れ徐々に対応できるようになりました。

今では打合せの司会進行をしたり、電話のやりとりも積極的にできるようになりました。

予定外のことが起こってしまうとあたふたしてしまうことがまだあるため、今後はさらに上手く対応できるよう精進したいです。

もっと
詳しく読む



物理 気象庁



鈴木 里菜

気象庁地震火山部地震火山技術・調査課
地震観測技術係

2018年採用



防災機関として社会に貢献でき、そのことを実感できる職場です

●学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生時代は岩石の弾性波速度を測定する実験を行い、波形データをよく見ていた経験から、現在の仕事でいきなり波形データの確認を依頼された際も戸惑いが少なかったです。また、広報係に配属されたときには、大学の学祭実行委員会の広報部に所属していた当時に学んだ、動画や広報誌の作成技術を生かし、広報用の動画やポスターを作成することができ、専攻以外の面でも自身の経験を生かすことができ非常にうれしく感じました。

●日々の仕事とやり甲斐

運用を管理している観測点のデータが、実際に情報に活用されているのを見たときにやりがいを感じます。特に、自身が整備・調整を進めた観測点のデータが入電し、地震情報として発表されているのを見たときに大きなやりがいを感じました。当初は観測に適した地盤が見つからず設置場所の選定に苦労しましたが、整備後、現業者から「ノイズの少ないきれいな波形を描いていてデータの検測がしやすい」と言われたときには達成感を感じました。

もっと
詳しく読む



化学 財務省税関



西谷 洋介

財務省横浜税関業務部
分析部門

2022年採用



化学的知見を活かし、精確な分析を行う

もっと
詳しく読む >



● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生時代は細胞生物学や遺伝子工学を専攻してきました。専攻してきた内容が現在の仕事に直接、つながることはそうそうないと思いますが、有機化学等の講義で学習した機器の原理、実験器具の使用方法などは現在の業務に活かされていると実感しています。

● 日々の仕事とやり甲斐

横浜税関分析部門では、食品の分析や不正薬物の分析を行っています。食品の分析では、食品に含まれる成分や含有量を調べており、その違いによってものにかかる税率が異なることがあります。

また、不正薬物の分析では、日本で規制されている薬物の種類やその薬物に適用される法令を特定しています。

税率などは国の収入、日本の産業に影響があり、不正薬物の分析では、日本の安全にかかわるなど重要な業務に携われていることにやりがいを感じています。

農学 農林水産省



新井 大地

農林水産省東北農政局生産部
生産振興課米輸出産地育成係長

2015年採用



農業の未来を考え、「食」を守る

もっと
詳しく読む >



● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生時代は施設園芸を専攻していたため、施設園芸における栽培管理は入省当時からある程度の知見がありました。仕事の中で施設園芸の農業者と話す機会があった際には、対等以上に話せるので、学生時代の専攻が役に立っています。他方、農業は様々な作物を相手にするので、専攻と全く同じ内容を担当することは少ないですが、省内には様々な作物の「プロ」がいますので、プロからも話を聞きつつ、日々勉強を積み重ねることで業務に対応できます。

● 転職について

私は、入省するまで東北以外に住んだことが無かったのですが、入省と同時に九州農政局に配属になりました。雪の降らない九州の農業は、同じ場所で複数回の農業生産を行えるメリットがある一方、台風や高温の影響を受けることも多く、東北で見てきた農業の事情とは大きく異なることを実感しました。様々な地域の特色を、机上論ではなく身をもって実感できるので、南北に長い日本の農業施策を考えるうえで、転職は貴重な経験になっていると思います。

農業農村工学

国土交通省

福井 絵理果

国土交通省北海道開発局
札幌開発建設部札幌南農業事務所工事課

2022年採用



北海道農業の未来を作る

もっと
詳しく読む



● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

大学では土壌学を専攻しており、十勝の大規模な農地で土壌の養分や農作物の調査を行っていました。広大な農地で日々を過ごしていくなかで北海道の大規模な農業に魅力を感じ、さらなる発展に関わりたいと思いました。北海道開発局の農業農村整備事業では農地の大区画化を行うことで、農業生産の基盤を整備し、生産性の向上や食料の安定供給を目指しており、北海道開発局の業務を通して北海道の農業に携わることができています。

● 日々の仕事とやり甲斐

現在は事務所勤務で、主に工事の設計・積算・監督業務、農家や役場関係者との協議・調整を行っています。担当している農地の区画整理工事では、農地の大区画化に併せて水管の埋設や農地周辺の農道整備などを行います。自分の携わった業務が、次第に「形」となって可視化出来ることにやりがいを感じます。また国営事業は一工事当たりの工事費が大きいため、大規模な工事を担当します。大きな責任を担う分、工事の施工が完了した際には、達成感を味わうことが出来ます。

林学

林野庁

齊藤 司

林野庁東北森林管理局
盛岡森林管理署・森林整備官

2017年採用



自然と共に、未来を築く仕事

もっと
詳しく読む



● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

私は大学、大学院において林学ではなく気象学を専攻していました。主に白神山地の麓で気象観測を行い、地球温暖化等で気象条件が変わった場合の森林の成長に与える影響を予測するという研究を行っていました。

現在担当している仕事においても、学生時代に学んだ「地形や立地がその地域の気象条件に大きく影響することや気象条件によって森林整備の方法も変わることがあること」を意識しながら、森林整備事業の計画作成等の業務に取り組んでいます。

● 日々の仕事とやり甲斐

国が管理経営する国有林野において、森林を健全な状態に維持・保全するために行う間伐等の整備事業の発注や事業進捗管理、整備事業の結果として生産される木材の販売等に係る業務を担当しています。

事業では様々な予期せぬ問題（天候不順による事業進捗の遅れ等）が生じることもあり、その処理対応で苦労することもあります。鬱蒼とした暗い森林が、整備事業後に光が差し込む健全な環境になったことを確認する時にやり甲斐を感じます。

育児等に関する 両立支援制度



両立支援制度のほかテレワークを
活用するなど柔軟な働き方ができます

<h3>出生サポート休暇</h3> <p>(第二子以降でも使用可能)</p> <p>不妊治療で通院等をする場合</p> <p>年5日(体外受精・顕微授精に係る通院等の場合は更に5日)</p>	<h3>産前・産後休暇</h3> <p>出産する場合</p> <p>産前6週間、産後8週間 (多胎妊娠の場合は産前14週間)</p>
---	--

保育時間

生後1年未満の子を保育する場合

1日2回それぞれ30分以内で勤務しないことが可能

育児休業

3歳未満の子を養育する場合

配偶者の就業等の状況にかかわらず、原則2回まで取得可能

育児短時間勤務

小学校就学前の子を養育する場合

短い勤務時間(3時間55分×5日等数パターン)での勤務

育児時間

小学校就学前の子を養育する場合

1日の勤務時間の始めか終わり(2時間まで)で勤務しないことが可能

子の看護休暇

小学校就学前の子を看護する場合

年5日(対象となる子が2人以上の場合は年10日)

超過勤務の免除

3歳未満の子を養育又は父母等を介護する場合

深夜勤務、超過勤務制限

小学校就学前の子を養育、又は父母等を介護する場合

深夜勤務を制限、超過勤務は月24時間・年150時間以内に制限

早出遅出勤務

小学校就学前の子を養育、放課後児童クラブ等に通う小学生の子を送り迎え、又は父母等を介護する場合

始業・終業時刻を繰り上げ又は繰り下げて勤務
※令和7年4月1日からは、「小学生以下の子を養育、又は父母等を介護する場合」となります。

配偶者同行休業

外国で勤務等をする配偶者と外国において生活を共にする場合

3年を超えない範囲内

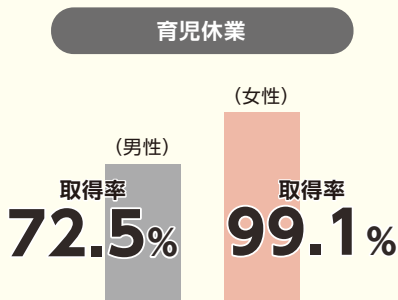
その他の制度	妊娠中の通勤緩和のための職務専念義務免除	妊娠中の休息、補食のための職務専念義務免除	配偶者出産休暇
育児参加のための休暇	休憩時間の短縮・延長	妊産婦の健康診査及び保健指導のための職務専念義務免除	妊産婦の業務軽減等
介護休暇	介護時間	短期介護休暇	フレックスタイム制

※産前・産後休暇は女性を対象とした休暇。「配偶者出産休暇」(妻の出産に伴う入院の付き添い等。2日以内)、「育児参加のための休暇」(妻の出産予定日の6週間前の日から出産の日以後1年を経過する日まで。5日以内)は男性を対象とした休暇。そのほかの休暇は、男女問わず利用することができます。

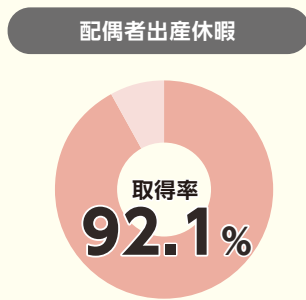
もっと詳しく読む



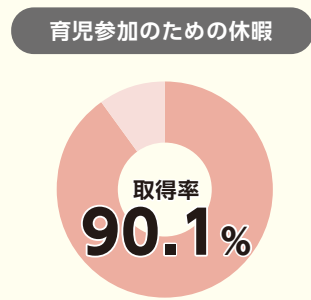
出産・育児に係る休暇、育児休業制度の取得率



※令和4年度に令和4年度以前に生まれた子についての最初の育児休業を取得した常勤の一般職国家公務員の割合



※令和4年度に子が生まれた男性の常勤職員のうち、令和4年度に配偶者出産休暇を使用した職員の割合



※令和4年度に子が生まれた男性の常勤職員のうち、令和4年度に育児参加のための休暇を使用した職員の割合

STAFF'S VOICE



雨森 沙也加

会計検査院第5局
デジタル検査課調査官

2012年採用



仕事も家庭も充実させるために、 使える制度は積極的に使っています

利用した制度や働き方改革をした点

2度育児休業を取得し、あわせて約2年間、業務から離れ、子どもとゆっくりと向き合う時間を作りました。職場復帰後はフルタイムで勤務していますが、フレックス制度とテレワークを利用して、早めに保育園にお迎えに行けるよう勤務時間を調節しています。ほとんど全ての会議がオンライン併用で実施されているため、テレワークでも問題なく勤務可能です。子どもの急な発熱等で早退や休暇を取得しなければいけない日も多いのですが、年次休暇とは別に子の看護休暇が取得できるので、利用しています。

日々の仕事

会計検査院は日帰り出張も多いため、育児中でも第一線で活躍できる職場です。現在所属している第5局デジタル検査課では、デジタル庁への会計検査や、各府省庁等の情報システムを対象に横断的な検査をしています。そのため、育児休業からの復帰直後から、露ヶ関を主とした都内近郊への会計実地検査に参加しています。また、業務の合間を縫って英語スキルアップチームの活動にも参加しており、海外の会計検査院が日本に来た際には、意見交換を行うなどの活動をしています。

制度の活用や働き方改革により変化したこと

小さい子どもを持つ同僚も多くいるため、業務の進捗状況等は適宜チーム内で共有をして、子どもの体調不良等で仕事を休まなければならない場合に備えて、お互いにカバーできる体制をとっています。勤務時間は、フレックス制度を利用して調節できるので、計画的に年次休暇を取得したり、少し短い勤務時間の日も設けることで自分の趣味にあてる時間を作ることができるようになりました。子育てから少し離れて映画鑑賞や自己研鑽の時間にしたりとリフレッシュできる時間をつくっています！

ある一週間のスケジュール



月 (8:00~17:00)	週後半の会計実地検査に向けての準備作業
火 (8:00~17:00)	昨日に引き続き準備、午後はオンライン会議
水 (7:30~17:30)	テレワークでいつもより長めの勤務
木 (9:00~17:45)	都内近郊への日帰り出張 (会計実地検査)
金 (9:00~17:45)	都内近郊への日帰り出張 (会計実地検査)

配偶者からのメッセージ



配偶者出産休暇を5日間取得した後、1ヶ月の育児休業を取得しました。現在はフレックス制度を利用しながら、二人の子どもを保育園へ連れて行ってから露ヶ関へ出勤しています。急な発熱、病気なども徐々に減ってきてはいますが、まだまだバタバタな毎日です。分担して育児を楽しもう！



一般職試験(大卒程度試験)の概要

一般職試験は、政策の実行やフォローアップなどに関する事務をその職務とする係員の採用試験です。
2025年度試験から、専門試験を課さない「教養区分」を新設しますので、以下の各項目にもご注目ください。

受験資格

21歳以上30歳未満の者(教養区分は20歳以上30歳未満の者が受験可)

(注) 年齢は、その試験の名称に掲げる年度の4月1日現在における年齢です。

21歳未満の者で大学卒業(及び卒業見込み)、短大又は高専を卒業(及び卒業見込み)並びに人事院が、これらの者と同等の資格があると認める者は、受験することができます。

試験種目

試験	行政区分	教養区分	行政・教養以外の区分
第1次試験	基礎能力試験(多肢選択式) 専門試験(多肢選択式) 一般論文試験	基礎能力試験(多肢選択式) 課題対応能力試験(多肢選択式) 一般教養論文試験	基礎能力試験(多肢選択式) 専門試験(多肢選択式) 専門試験(記述式)
第2次試験	人物試験	人物試験	人物試験

実際に出题された問題(過去問)をご覧になりたい方、詳しい情報を知りたい方は、人事院ホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」の「試験情報」をご覧ください。

試験の区分

「行政」及び「教養」区分における本府省への採用については、それぞれ「関東甲信越地域」からの採用が中心となりますが、全国から優秀な方を採用できるようにする観点から、それ以外の地域からも採用が可能となっています。

	試験の区分	採用時の勤務地等		試験の区分	採用時の勤務地等
	行政 及び 教養	北海道地域		北海道	本府省
東北地域		青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県	機械		
関東甲信越地域		茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・ 神奈川県・山梨県・新潟県・長野県	土木		
東海北陸地域		岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・富山県・石川県・福井県	建築		
近畿地域		滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県	物理		
中国地域		鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県	化学		
四国地域		徳島県・香川県・愛媛県・高知県	農学		
九州地域		福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・ 宮崎県・鹿児島県	農業農村工学		
沖縄地域		沖縄県	林学		
			技術系		

区分別の採用予定機関一覧は、人事院ホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」内の「採用情報」をご覧ください。

2025年度新設の「教養区分」のポイント

1. 区分のコンセプト

- ・「教養」を備えており、事務処理能力が高い方々を募集する区分です。
→ 専門試験の対策は不要です!(文系・理系の出身は問いません。)
- ・20歳(大学3年生など)から受験可能!(採用候補者名簿の有効期間は6年間です。大学3・4年生で計2回受験可能です。)

2. 試験の内容

- ・採用希望地域を受験者が選べる「地域試験」として実施(行政区分と同じ仕組みです。)
※「地域」は北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄の9つ

(参考) 行政区分の試験種目

- ① 基礎能力試験(多肢選択式)
 - ① 専門試験(多肢選択式)
 - ① 一般論文試験
 - ② 人物試験
- ※ ①: 第1次試験、②: 第2次試験



教養区分の試験種目

- ① 基礎能力試験(多肢選択式)
- ① 課題対応能力試験(多肢選択式)
- ① 一般教養論文試験
- ② 人物試験

試験から採用までの流れ



●「合格」＝「採用」ではありません。

一般職試験(大卒程度試験)に合格すると一部の試験を除き採用候補者名簿に5年間^(注)記載されるので、その間、志望する府省を訪問(官庁訪問)して、内々定を得る必要があります。

(注) 2022年度(令和4年度)以前の試験の合格者については、採用候補者名簿の有効期間は3年間です、ご注意ください。

官庁訪問

- 1 官庁訪問は、志望府省を訪問し、業務説明や面接を受けるもので、志望府省に採用されるための重要なステップです。
- 2 「採用試験合格＝採用」ではなく、官庁訪問を経て志望府省の内々定を得ることで採用に至ります。
- 3 志望府省に関する知識を深めるとともに自己PRの重要な機会となります。
- 4 複数の府省を訪問できますので、志望府省を積極的に訪問しましょう。

若手職員体験談

Q |

官庁訪問で心掛けたこと、これから官庁訪問する人へアドバイスをお願いします。



Aさん

自身の関心が何にあって、どういう形で貢献していきたいと考えているのかを、自分なりに考え伝えることを心がけていました。各府省それぞれの特性があるからこそ、色々なところの話を聞いて働く姿をイメージしてみることも大切だと思います。

官庁訪問では、自分のこれまで取組んできたこと・学んできたことや将来自分が目指す姿が、志望先の府省の仕事とイかにマッチしているかを語れるようになることが最も重要だと思います。

Bさん



Cさん

官庁訪問では面接官に楽しく聞いていただけるよう、笑顔でいきいきと話すことを心がけました。また、自分の熱意をしっかり届けられるよう、想いを込めて話すことを心がけました。志望する府省の理解を深め、将来についてイメージを持つことは、官庁訪問に役立つと思います。

採用側が「一緒に働きたい」と思うことが一番大切だと思います。私の場合は、「自分が採用側の立場なら、丁寧な受け答えができる人と働きたい」と思ったので、丁寧に挨拶・返事することを心掛けました。

Dさん



官庁訪問のルールやスケジュール等の詳しい情報を知りたい方は、人事院ホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」内の「採用情報」をご覧ください。

一般職試験

給与・勤務時間など

(令和6年4月現在)

初任給	<大卒程度試験採用> 242,640円 ^{※1}
諸手当	扶養手当、通勤手当、住居手当、超過勤務手当など
昇給	原則年1回
賞与(ボーナス)	期末手当、勤勉手当として、1年間に俸給の月額等の約4.5月分(6月、12月に支給)
勤務時間	1日7時間45分 ^{※2}
休暇等	年次休暇20日 ^{※3} 残日数は20日を限度として翌年に繰越し その他、病気休暇、特別休暇(夏季・結婚・出産・冠引・ボランティア等)、介護休暇等
休日	土・日、祝日等・年末年始(12月29日～1月3日) ^{※2}

※1 本府省に勤務する場合の俸給(行政職俸給表(一)1級)、本府省業務調整手当、地域手当の合計

※2 職務の必要等に応じて異なる場合があります。

※3 4月1日採用の場合、採用年は15日

人材育成

研修と多様な勤務経験

国家公務員には、研修や他機関への出向等の多様な育成機会が設けられており、本人の希望や適性も考慮のうえ、その機会が付与されます。

人事院が実施する
各種研修の詳細はこちら



官民人事交流

あなたのキャリアに民間企業の経験を!!

国家公務員には、国の機関と民間企業との間の人事交流を通じて、人材の育成、組織運営の活性化等を図ることを目的とした「官民人事交流制度」があります。国家公務員のまま民間企業等で働くことができます(制度ができた平成12年から令和5年末までの間に、延べ803人が民間企業等に交流派遣されています。)

交流派遣先の実例

サイボウズ株式会社
東日本旅客鉄道株式会社

住友商事株式会社
株式会社三菱総合研究所

日本生命保険相互会社
ライオン株式会社

他にも様々な民間企業等へ交流派遣されています。

交流派遣を経験した職員の
成長実感!!

出身府省の理解が深まる、
見え方が変わる

民間企業のノウハウ、
業務手法を体得できる

自ら考え、行動する能力、
情報収集能力が向上する

官民人事交流の仕組み、
有識者・官民人事交流経験者の
インタビュー記事など詳細はこちら



国内外の大学院への派遣

行政の国際化の進展、複雑・高度化に対応し得る人材を育成するため人事院や各府省による国内外の大学院への派遣制度が設けられています。

一般職試験(大卒程度試験)府省等別・試験の区分別採用状況

(令和6年4月1日現在)

府省等	試験の区分		行政	デジタル・電気・電子	機械	土木	建築	物理	化学	農学	農業 農村工学	林学	合計										
	行政	試験の区分																					
会計検査院	20	(5)			1	(1)		1	1	(1)	3	(3)	26	(10)									
人事院	11	(6)											11	(6)									
内閣官房	8	(1)	2	(1)	2	(1)	2	1	(1)				15	(4)									
内閣法制局	1	(1)											1	(1)									
内閣府	25	(16)	1			4			2	3	2	(1)	37	(17)									
デジタル庁	5	(2)	1	(1)									6	(3)									
宮内庁	15	(8)				1							16	(8)									
公正取引委員会	31	(21)											31	(21)									
警察庁	40	(19)	13	(4)	6	(1)	3	4	11	(7)	10	(4)	89	(36)									
個人情報保護委員会	10	(7)	1										11	(7)									
カジノ管理委員会	6	(2)											6	(2)									
金融庁	23	(14)				1		1	(1)				25	(15)									
消費者庁	3	(1)							1	(1)			4	(2)									
こども家庭庁																							
総務省	126	(63)	14	(3)	1		1	(1)	2	1			146	(67)									
法務省	225	(106)			1		1	(1)					227	(107)									
検察庁	184	(88)											184	(88)									
出入国在留管理庁	147	(86)											147	(86)									
公安調査庁	49	(15)	2	(1)									51	(16)									
外務省	3	(3)	2				3	(3)					8	(6)									
財務省	9	(4)											9	(4)									
財務省財務局							2	(1)					2	(1)									
財務省税関	226	(95)	2	(2)				1	18	(9)	3	(2)	250	(108)									
文部科学省	22	(9)	1	(1)				2	(1)	1	(1)	1	(1)	28	(14)								
厚生労働省	709	(308)	4	(2)									713	(310)									
農林水産省	177	(107)	4	(1)	1			2	(1)	8	(5)	84	(49)	29	(11)	3	(1)	308	(175)				
林野庁	17	(6)				1							76	(26)	94	(32)							
水産庁	10	(3)				2	(1)						12	(4)									
経済産業省	88	(43)	4		7	(1)	4	(2)	2	14	(6)	6	(4)	125	(56)								
特許庁	38	(20)											38	(20)									
国土交通省	465	(151)	22	(3)	41	(2)	152	(42)	17	(4)	10	(4)	14	(1)	31	(8)	4	(1)	32	(7)	788	(223)	
気象庁	47	(15)	5	(1)			9	(1)	57	(12)	20	(7)	138	(36)									
運輸安全委員会	2	(1)			1			1					4	(1)									
海上保安庁																							
環境省	11	(6)				3	(2)	1	5	(3)	3	(1)	1	14	(7)	38	(19)						
原子力規制庁	8	(1)			2	(1)	1	(1)	1	4	(1)		1	(1)	18	(5)							
行政執行法人	23	(14)	1		2			1	6	(2)	8	(5)	41	(21)									
防衛省	220	(86)	17	(3)	7	(1)	4	(1)	2				250	(91)									
防衛装備庁	28	(10)	1		1			1	1	(1)			32	(11)									
衆議院事務局			3										3										
衆議院法制局																							
合計	3,032	(1,343)	100	(23)	73	(8)	188	(51)	24	(9)	89	(20)	108	(45)	153	(77)	36	(13)	129	(44)	3,932	(1,633)	

(注1) 2023年度一般職試験(大卒程度試験)の合格者で最終合格者発表日以後令和6年4月1日までの間に採用された者の数です(過年度試験の合格者で同期間に採用された者を含む)。

(注2) ()内の数字は、女性の内数です。

令和8年4月の採用予定数は、令和7年2月初旬頃に人事院のホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」等に掲載する予定です。その後、随時ホームページを通じて府省等別・試験の区分別の最新の採用予定数をお知らせしていきます。なお、過去の採用状況もホームページに掲載していますので参考にしてください。

女性の登用状況などの情報は、女性活躍推進法「見える化」サイト等でご覧いただけます。



人事院地方事務局（所）の連絡先

北海道事務局	Tel. 011-241-1248	〒060-0042	札幌市中央区大通西12丁目
東北事務局	Tel. 022-221-2022	〒980-0014	仙台市青葉区本町3-2-23
関東事務局	Tel. 048-740-2006	〒330-9712	さいたま市中央区新都心1-1
中部事務局	Tel. 052-961-6838	〒460-0001	名古屋市中区三の丸2-5-1
近畿事務局	Tel. 06-4796-2191	〒553-8513	大阪市福島区福島1-1-60
中国事務局	Tel. 082-228-1183	〒730-0012	広島市中区上八丁堀6-30
四国事務局	Tel. 087-880-7442	〒760-0019	高松市サンポート3-33
九州事務局	Tel. 092-431-7733	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東2-11-1
沖縄事務局	Tel. 098-834-8400	〒900-0022	那覇市樋川1-15-15

国家公務員試験や採用に関する最新の情報はこちらをチェック！



国家公務員試験採用情報NAVI

<https://www.jinji.go.jp/saiyo.html>

Youtube

https://www.youtube.com/channel/UCTk_x9QBe3EnDPSP2a0DrQg



X(旧Twitter)

https://x.com/jinjiin_saiyo

Instagram

<https://www.instagram.com/jinjiin.saiyo/>



Threads

<https://www.threads.net/@jinjiin.saiyo>

メールマガジン

<https://www.jinji.go.jp/saiyo/merumaga.html>



内閣人事局のホームページ 国家公務員 CAREER GUIDE

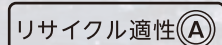
<https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/jinjikyoku/recruit/index.html>

お問い合わせ

人事院 人材局 企画課 人材確保対策室

〒100-8913 東京都千代田区霞が関1-2-3

Tel.03-3581-5311 (代表)



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

2024年10月発行